

道具から、お菓子やお茶まで、すべて鹿児島県産にこだわりました。

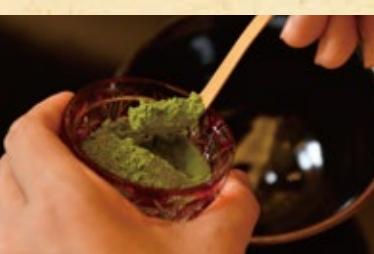


当体験教室では、茶道師範による伝統的な点前をご覧いただいた後、作法に則り各自で抹茶を点て、和菓子と共に抹茶を召し上がって頂きます。茶道体験の後には、本格的な会席料理も召し上がっていただきます。



道具

TOOL



一座建立を表す茶道の道具

茶道では、多くの道具を使います。それぞれに意味やこだわりがあり使い方も独特です。抹茶を飲むための茶碗、抹茶をすくうための匙である茶杓、抹茶を点てるための茶筅、湯を沸かすための釜をはじめ、そのほかにもあらゆる道具を使います。ただ茶を点てるだけの道具ではなく、亭主の「お客様に対する心」が茶道具ひとつひとつに宿っています。亭主は様々な趣向、工夫を凝らして道具を取り合わせて茶室をしつらえます。亭主とお客様が一座にし、一服の抹茶を介してお互いの心を通わせる、この精神性を茶道では「一座建立」といいます。



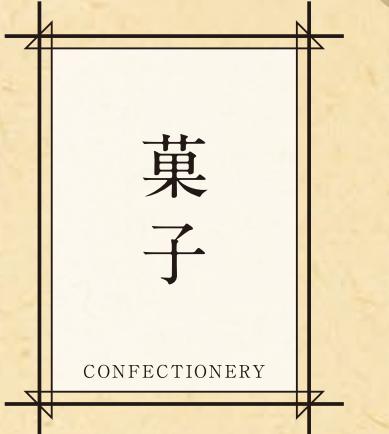
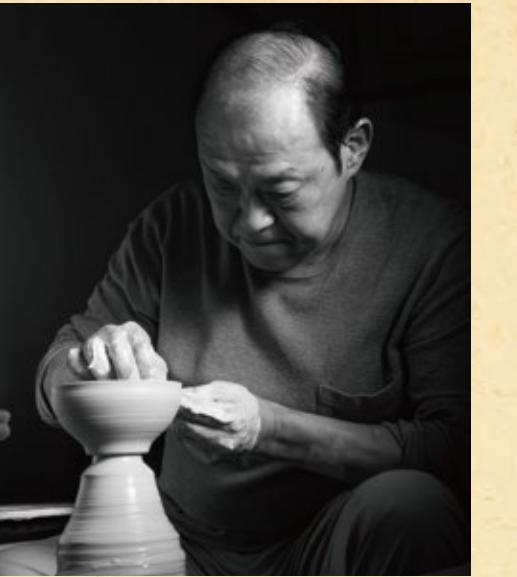
抹茶

POWDERED TEA



十五代沈壽官監修 黒薩摩茶碗

茶道には茶碗を眺める作法もありますが、鑑賞用として優れているよりも、亭主が客人をもてなす気持ちが表れているか、そしてお客様が茶を飲むときに心地よく感じられるかが大切です。この教室ではそんな茶道の「一座建立」を表すような茶碗を用意しました。400年以上の歴史を持つ薩摩焼発祥の地・美山。そこで薩摩藩の藩主御用達として続いてきた薩摩焼を牽引する窯元・沈壽官窯が、この教室のために一つひとつ手作りしました。



菓子

CONFECTIONERY

風味豊かな鹿児島の和菓子

茶道では、和菓子は欠かせないものです。先に和菓子をいただく事で口の中にかすかに甘みが残り、より抹茶を美味しい頂けます。季節感のある繊細できれいな和菓子は、茶席を引き立てるものでもあります。



体验のあとは茶会席料理で

食材・味・器・季ひとつひとつへのこだわりと心づくし、最上のおもてなしと鹿児島の旬の食材をふんだんに使用した料理で寛ぎのひとときを存分にお楽しみください。



会席

MEETING MEAL



お品書き

一、前菜

一、向付

一、椀物

一、温物

一、揚げ物

一、酢の物

一、ご飯物